

一般社団法人国際法協会日本支部 2017年度事業報告書

住所 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学法学部研究室内
代表理事 柳井俊二

当法人の2017年度終了に伴い、以下の通りご報告申し上げます。

1. 会員総会

定時会員総会を2017年4月22日13時45分～14時10分に東京大学山上会館において行った。議事の詳細は、資料Aを参照。

2. 理事会

第1回理事会を2017年4月22日12時15分～13時25分に東京大学山上会館において行った。議事の詳細は、資料Bを参照。

第2回理事会を2017年11月20日18時30分～20時15分にアルカディア市ヶ谷において行った。議事の詳細は、資料Cを参照。

3. 事業活動その1 研究活動

① 国内大会

国内大会を2017年4月22日11時～17時40分に東京大学山上会館において行った。大会の詳細は次の通り。

共通テーマ「既存国際法への挑戦」

午前の部

「ユーラシア地政学と中東複合危機—戦争とテロと難民」山内昌之（東京大学名誉教授、明治大学特任教授）

午後の部 座長 岩沢雄司（東京大学教授）

「国際法と中国の挑戦—受容者から構築者への役転換における困惑」王志安（駒澤大学教授）

「国際刑事法の発展に対するアフリカ諸国の反発とアフリカ国際刑事裁判所構想」稲角光恵（金沢大学教授）

「非承認国家における人権状況とその国際的な擁護」 松里公孝（東京大学教授）

② 講演会

2017年8月2日に東海大学校友会館において、日本国際問題研究所、外務省との共催でロニー・アブラハム国際司法裁判所所長の講演会「法の支配の促進とICJの役割」を開催した。

4. 事業活動その2 出版活動

英文国際法年報(Japanese Yearbook of International Law) 第60巻の出版を行った。同巻は2018年3月に刊行された。同巻の目次は、資料Dを参照(同巻は各会員に郵送済)。

一般社団法人国際法協会日本支部 2017年度定時会員総会議事録

日時：2017年4月22日（土）13時45分～14時10分

場所：東京大学（本郷キャンパス）山上会館

会員総数：319名

出席者及び委任状提出者の総数：171名

出席理事（23名）：畑場準一、浅田正彦、岩沢雄司、奥脇直也、兼原敦子、熊倉禎男、香西茂、斎木尚子、酒井啓亘、坂元茂樹、櫻田嘉章、鳥居淳子、道垣内正人、中谷和弘、廣部和也、古谷修一、松井芳郎、村瀬信也、森川幸一、薬師寺公夫、柳井俊二、柳原正治、山内惟介

出席監事（2名）：折田正樹、川村明

柳井俊二代表理事が議長席につき、出席者及び委任状提出者の総数が171名ゆえ、定足数を満たし本総会は有効に成立した旨を宣言し、議事に入った。

審議事項1：2016年度事業報告及びその附属明細書並びに同年度決算案（貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）及びその附属明細書等の承認の件

各担当理事より、2016年度事業報告及びその附属明細書並びに同年度決算案（貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）及びその附属明細書について説明がなされ、全員一致、これを承認した。あわせて、庶務担当業務執行理事より、2016年度公益目的支出計画実施報告書について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項2：2017年度事業計画及び同年度予算案の件

各担当理事より、2017年度事業計画及び同年度予算案について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項3：新入会員及び特別会員の承認の件

庶務担当業務執行理事より、理事会としては、通常会員として、通常会員につき、王志安・駒澤大学法学部教授、林恵子・松尾綜合法律事務所弁護士、小塚荘一郎・学習院大学法学部教授、木村ひとみ・大妻女子大学准教授、金武真智子・ユトレヒト大学助教授、米谷三以・西村あさひ法律事務所弁護士、石塚智佐・東洋大学法学部准教授、安藤貴世・日本大学危機管理学部教授、高橋純・外務省専門調査員（在ハンブルグ）、丸山政己・山形大学人文社会科学部准教授、佐藤智恵・明治大学法学部准教授、加藤陽・近畿大学法学部准教授の計12名を会員総会に新入会員として推薦し、会員総会の承認を頂きたい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。また、庶務担当業務執行理事より、理事会としては、特別会員として、吉田朋之氏、中村和彦氏、毛利忠敦氏にかえて、三上正裕氏、河津邦彦氏、中村仁威氏を推薦し、会員総会の承認を頂きたい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。これにより、会員数は331名（通常会員313名、特別会員6名、維持会員12名）となる。

審議事項4：2020年世界大会（京都）の件

代表理事、庶務担当業務執行理事及び京都大会共同実行委員長より、2020年8月に京都で開催予定の世界大会に向けての準備のあり方について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人として選出された、柳井俊二（代表理事・議長）、奥脇直也（副代表理事）、熊倉禎男（業務執行理事）は、次に記名押印する。

2017年 4月 28日

一般社団法人国際法協会日本支部

代表理事（議長） 柳井俊二

副代表理事 奥脇直也

業務執行理事 熊倉禎男

議事録作成者 業務執行理事 中谷和弘

一般社団法人国際法協会日本支部 2017年度第1回理事会議事録

日時：2017年4月22日（土）12時15分—13時25分

場所：東京大学（本郷キャンパス）山上会館

理事総数：24名

出席者 理事（23名）：舩場準一、浅田正彦、岩沢雄司、奥脇直也、兼原敦子、熊倉禎男、香西茂、齋木尚子、酒井啓亘、坂元茂樹、櫻田嘉章、鳥居淳子、道垣内正人、中谷和弘、廣部和也、古谷修一、松井芳郎、村瀬信也、森川幸一、薬師寺公夫、柳井俊二、柳原正治、山内惟介

監事（2名）：川村明、折田正樹

欠席者 理事：小和田恒

柳井俊二代表理事が議長席につき、出席理事が上記23名ゆえ、定足数を満たし本理事会は有効に成立した旨を宣言し、議事に入った。

報告事項：代表理事、業務執行理事、各担当理事から自己の職務の執行の状況について報告がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項1：2016年度事業報告及びその附属明細書並びに同年度決算案（貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）及びその附属明細書等の承認の件

各担当理事から、全ての監事の監査が終了し、監査報告書を受領済みの2016年度事業報告及びその附属明細書並びに同年度決算案（貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）及びその附属明細書について説明がなされ、全員一致、これを承認した。あわせて、庶務担当業務執行理事より、全ての監事の監査が終了し、監査報告書を受領済みの2016年度公益目的支出計画実施報告書について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項2：2017年度事業計画及び同年度予算案の件

各担当理事より、2017年度事業計画及び同年度予算案について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項3：新入会員及び特別会員の件

庶務担当業務執行理事より、通常会員につき3名（丸山政己・山形大学人文社会科学部准教授、佐藤智恵・明治大学法学部准教授、加藤陽・近畿大学法学部准教授）の入会及び特別会員1名の入会（毛利忠敦氏から中村仁威氏への交代に伴う）について、前回の理事会で承認した9名の通常会員候補者及び2名の特別会員候補者とあわせて会員総会に推薦したい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項4：2020年世界大会（京都）の件

代表理事、庶務担当常務執行理事及び京都大会実行委員会共同委員長より、2020年8月に京都で開催予定の世界大会に向けての準備のあり方について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、柳井俊二(代表理事・議長)、折田正樹(監事)、川村明(監事)は、次に記名押印する。

2017年4月28日

一般社団法人国際法協会日本支部

代表理事(議長) 柳井俊二

監事 折田正樹

監事 川村明

議事録作成者 業務執行理事 中谷和弘

一般社団法人国際法協会日本支部 2017年度第2回理事会議事録

日時：2017年11月20日（月）18時30分～20時15分

場所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）赤城の間

理事総数：23名

出席者

理事（17名）：畑場準一、岩沢雄司、奥脇直也、兼原敦子、熊倉禎男、香西茂、櫻田嘉章、道垣内正人、鳥居淳子、中谷和弘、廣部和也、古谷修一、松井芳郎、森川幸一、粟師寺公夫、柳井俊二、柳原正治

監事（2名）：折田正樹、川村明

欠席者

理事（6名）：浅田正彦、小和田恒、酒井啓亘、坂元茂樹、村瀬信也、山内惟介

柳井俊二代表理事が議長席につき、出席理事が上記17名ゆえ、定足数を満たし本理事会は有効に成立した旨を宣言し、議事に入った。

報告事項：代表理事、業務執行理事、各主任による報告

代表理事、業務執行理事、各主任（庶務、会計、編集、研究企画の各担当理事）から自己の職務の執行の状況について報告がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項1：2017年度事業報告及び同年度予算執行状況の件

各担当理事より、2017年事業報告及び同年度予算執行について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項2：新入会員及び特別会員に関する件

庶務担当理事より、通常会員7名（北浦康弘・外務省国際法局海洋室長、河合利修・日本大学教授、御巫智洋・在英国大使館公使、櫻井大三・学習院女子大学教授、柳赫秀・横浜国立大学教授、喜多康夫・帝京大学准教授、浅妻章如・立教大学教授）の入会及び特別会員4名の交代（斎木尚子氏に代わり三上正裕氏、三上正裕氏にかわり松浦博司氏、御巫智洋氏にかわり濱本幸也氏、河津邦彦氏にかわり片平聡氏）を来年4月の会員総会に推薦したい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項 3 : 2020年世界大会の件

庶務担当理事及び京都大会共同実行委員長より、2020年8月に京都で開催する世界大会の準備状況について説明がなされた。財務面を含む今後の取り組みの方針について、全員一致、これを承認した。

審議事項 4 : その他

特になし。

以上、この議事録が正確であることを証するため、柳井俊二（代表理事・議長）、折田正樹（監事）、川村明（監事）は、次に記名押印する。

2017年11月24日

一般社団法人国際法協会日本支部

代表理事（議長） 柳井俊二

監事 折田正樹

監事 川村明

議事録作成者 理事・庶務主任 中谷和弘

Volume 60 (2017)

CONTENTS

IN MEMORIAM

Professor Dr. Yasuo Ishimoto (1924-2015) *Shinya Murase* 1

ARTICLES

UNIFORM LAW TREATIES: THEIR RECEPTION, IMPLEMENTATION, SUCCESS AND FAILURE

Introductory Note *Hiroo Sono* 4

Going Forward with Uniform Private Law Treaties:
A Study in Japan's Behavioral Pattern *Hiroo Sono* 10

When Does Japan Not Conclude Uniform Private Law Conventions?
..... *Tomotaka Fujita* 59

The Selective Reception of Uniform Law in Asia *Soutchiron Kozuka* 86

Successes and Failures of Harmonization of Commercial Laws
..... *Tetsuo Morishita* 113

NEW JAPANESE LEGISLATION FOR PEACE AND SECURITY (2015) AND INTERNATIONAL LAW

New Japanese Legislation for Peace and Security
— Its Background and Salient Points — *Shurji Yanai* 136

Collective Self-Defence in International Law and in the New Japanese
Legislation for Peace and Security (2015) *Tadashi Mori* 158

The Constitutional Limitation on the Exercise of the Right of Collective
Self-Defense: Minesweeping in Foreign Territorial Waters and Close-In
Logistical Support for Belligerents *Akira Miyama* 171

The Legal Frameworks of "Coming-To-Aid" Duty: The Pluralism of the
Concept of Self-Defense and Its Multi-Layered Legal Grounds
..... *Masabiro Kurosaki* 194

HALF A CENTURY WITH THE INTERNATIONAL COVENANTS ON HUMAN RIGHTS: LONG-TERM IMPACTS ON THE WORLD, ASIA AND JAPAN: PART TWO

Forty Years' Practice of the UN Human Rights Committee for Implementation of the Covenant: A Universal Model for the Protection and Promotion of Human Rights *Naoko Maeda* 212

Human Rights Treaties within the UPR Process: Opportunities and Limits of Inter-Governmental Monitoring of Human Rights *Walter Kalin* 243

Developments in the Acceptance and Implementation of Obligations Defined in Core UN Human Rights Conventions by East Asian and Southeast Asian Countries *Kimio Yakuibiji* 261

UNILATERALISM AND MULTILATERALISM IN REGULATING CROSS-BORDER BUSINESS TRANSACTIONS: PART TWO

Fall of Extraterritoriality and Resurgence of Choice of Law in Global Securities Litigation *Yoshiaki Nomura* 314

SPECIAL LECTURE

The Role of the ICJ in the Promotion of the Rule of Law *Judge Ronny Abraham* 339

JAPANESE DIGEST OF INTERNATIONAL LAW

Territorial Status of the Northern Territories *Shohtarō Hamamoto* 350

Historical Development — Treaty of Peace with Japan — Definition of "the Kurile Islands" — Japan-USSR Joint Declaration — Negotiation of a Peace Treaty with the USSR and the Russian Federation — Practical Issues Arising from the Russian Presence in the Northern Territories

Legislative, Administrative and Judicial Measures in Japan Against Racial Hate Speech *SHIN Hae Bong* 379

International Convention on the Elimination of All Forms of Racial Discrimination — Definition of Racial Discrimination (Article 1) — Obligation to Prohibit Racial Discrimination by Any Persons, Group or Organization (Article 2(d)) — Obligation to Take Immediate and Positive Measures Designed to Eradicate All Incitement to Racial Hatred or Acts of Racial Discrimination (Article 4(c) and (b)) — Japan's Reservation to Article 4(a) and (b) — Court Cases Involving the Convention in Interpreting Tort Provision in the Civil Code — Act on the Promotion of Efforts to Eliminate Unfair Discriminatory Speech and Behavior Against Persons Originating from Outside Japan

CASES AND ISSUES IN JAPANESE PRIVATE INTERNATIONAL LAW

Recognition of a Foreign Judgment on Children Born Through Surrogate Pregnancy *Daï Yokomizo* 399

BOOK REVIEWS

Nihon no Kokusai Hou, Jirei Kenkyū 6: Sengobaishou [Digest of Japanese Practice in International Law, Vol.6: Post War Reparations], edited by *Kokusai Hou, Jirei Kenkyū-kai* [Study Group on Japanese Practice in International Law], Kyoto: Minerva Shobo, 2016. *Takanobu Kiriyama* 410

Kokusai Iboukai Sekinin no Kenkyū: Kokkōsekitron no Kibonmondai [A Study on Responsibility for Internationally Wrongful Acts: Basic Problems in Theories of State Responsibility], by *Hiroyuki Banzai*. Tokyo: Seibundoh, 2015. *Takabet Yamada* 414

Kokusaisaiban no Shouko-hou-ron [Evidence before International Courts and Tribunals], by *Kei Nakajima*. Tokyo: Shinzansha, 2016. *Yoshiyuki Lee-Iwamoto* 416

Gendai Kokusaiho Ronnyū: Kaibatsu, Bunka, Jindo [Essays on Modern International Law: Development, Culture, and Humanity], by *Maki Nishitani*. Tokyo: Chuo University Press, 2016. *Kazuyori Ito* 420

Kokusai Kazokuho Kenkyū [Study on International Family Law], by *Yoshiaki Ohmura*. Tokyo: Seibundo, 2015. *Yukiko Oda* 424

Kokusai Kaikyō [International Straits], edited by *Shigeki Sakamoto*. Tokyo: Toshindo, 2015. *Atsuko Kametani* 427

Koukai Fairansu ni okeru Tanpo Seido Toisū no Bunseki: Kepti Taun Jiyaku no Chosen [Analysis of the Unified Security System in Aircraft Financing: Challenges of the Cape Town Convention], by *Ikumi Sato*. Kyoto: Horisubunkasya, 2016. *Naoe Fujisawa* 433

Kokuren Anzen Hosho Rijiiki to Kensei Dai 7 Sho — Shudan Anzen Hosho Seido no Sozoteki Tenkai to Sono Kadai [The Security Council of the United Nations and Chapter VII of the UN Charter: The Evolving Development of the Collective Security and the Challenges to It], by *Tetsuo Sato*. Tokyo: Yuhikaku, 2015. *Akira Kato* 436

Internationales Gesellschaftsrecht in Japan: Im Vergleich mit dem Internationalen Gesellschaftsrecht in der EU und in Deutschland [International Corporate Law in Japan: In Comparison to International Corporate Law in the EU and in Germany], by *Eva Schwittek*. Tübingen: Mohr Siebeck, 2015. ... *Metko Dillmann* 439

<i>Kaiyo Gabanansu no Kokusaibo</i> [International Law for the Ocean Governance], by Makoto Sea. Tokyo: Sansendo, 2016.	Yurika Isōji	443
<i>Buryokufuruso niokeru Kokusajindobo to Kokusajinkenbo no Kosaku</i> [The Interaction between International Human Rights Law and International Humanitarian Law in Armed Conflict], by Yoko Takashima. Tokyo: Sensyu University Press, 2015.	Kentaro Wani	446
<i>Kokusaishibo no Shinka to Haiten</i> [Deepening and Development of Private International Law], by Koresuke Yamauchi. Tokyo: Shinzansha, 2016.	Ren Yatsunami	449
<i>Kokusaitenkai Shibo no Chosen-Meilenstetne im Internationalen Privat- und Wirtschaftrecht: Festgabe für Bernhard Großfeld und Otto Sandrock</i> [Challenges of Private International Law: In Honour of Bernhard Großfeld and Otto Sandrock and in Memory of 25 Years of Interrelationship Between Chuo University and University of Münster], edited by Koresuke Yamauchi and Werner F. Ebke. Tokyo: Chuo University Press, 2014.	Katsuke Takeshita	452
JUDICIAL DECISIONS IN JAPAN 456		
I. Public International Law		
Tokyo High Court, Judgment, July 1, 2015.		457
<i>Gender Identity Disorder — Equality — Article 14 of the International Covenant on Civil and Political Rights — Applicability Between Private Persons</i>		
Osaka High Court, Judgment, November 27, 2015.		461
<i>Deportation Under the Immigration Control and Refugee Recognition Act — Validity of the Designation of the Destination of Deportation Distinct from Validity of the Written Deportation Order Itself — Elements to be Considered in Exercising Discretion in Designating the Deportation Destination — Risk of Death Penalty for Previously Sentenced and Served Crimes</i>		
Tokyo District Court, Judgment, February 17, 2016.		469
<i>Eligibility for Refugee Status — Meaning of Persecution Under the ICRR — Author of Persecution — Burden and Degree of Proof — Credibility and Reasonableness of Statement Made by Applicant — Discretion in Issuing a Special Permission to Stay — International Customary Law on Freedom of Immigration Control</i>		
Tokyo District Court, Judgment, March 17, 2016.		478
<i>Article 4(C) of the WTO Agreement on Agriculture — Direct Applicability — Subjective and Objective Criteria</i>		

II. Private International Law

Supreme Court (1st Petty Bench), Judgment, March 10, 2016.		488
<i>International Adjudicatory Jurisdiction over a Tort Claim — Special Circumstances — Defamation — Lis Pendens</i>		
Supreme Court (1st Petty Bench), Decision, June 2, 2016.		490
<i>Locus Standi — Civil Procedure Law — Party Authorized Charge of Litigation — Principle of Representation in Court by Attorney-at-law — Prohibition of Creating Trusts for Litigation</i>		
Tokyo High Court, Judgment, November 17, 2014.		495
<i>International Adjudicatory Jurisdiction — Exclusive Choice of Court Agreement — Consumer Contracts — Redemption on Maturity — Alternative Claim for Damages Based on Tort — Article 3.4(C) of the Code of Civil Procedure — Public Policy</i>		
Intellectual Property High Court, Decision, March 25, 2015.		499
<i>Governing Law of Tort Claim — Defamation — International Adjudicatory Jurisdiction for Tort Claim — International Adjudicatory Jurisdiction Based on a Close Connection with an Anchor Claim</i>		
Tokyo District Court, Judgment, March 24, 2014.		506
<i>International Adjudicatory Jurisdiction — Action to Oppose Enforcement of Arbitral Awards — Sewof</i>		
Tokyo District Court, Judgment, April 28, 2015.		509
<i>International Adjudicatory Jurisdiction over a Tort Claim — Infringement of Intellectual Property Rights — Place of a Tort</i>		
Shizuoka District Court, Judgment, December 2, 2015.		512
<i>Applicable Law to Parental Authority — Parental Authority Under the Japanese Civil Code — Handing over a Child — Habitual Residence</i>		
Fukuoka District Court (Kokura Branch), Decision, December 4, 2015.		517
<i>Applicable Law to Maritime Lien — Applicable Law to Contractual Obligation — Characteristic Performance — Vessel Auction</i>		
Kobe District Court, Decision, January 21, 2016.		520
<i>Applicable Law to Maritime Lien — Applicable Law to Contractual Obligation — Characteristic Performance — Vessel Auction</i>		
Tokyo District Court, Interlocutory Judgment, February 15, 2016.		523
<i>International Adjudicatory Jurisdiction over a Tort Claim — Validity of Exclusive Jurisdiction Clause — Anti-trust (Competitor) Law</i>		

XIV CONTENTS

Tokyo District Court, Decision, September 26, 2016 526

Governing Law of Labor Contract — Application of Mandatory Provisions of the Law of the Most Closely Connected Place to a Labor Contract — The Place Where the Work Should be Provided

CHRONOLOGY OF JAPANESE FOREIGN AFFAIRS IN 2016 534

CHRONOLOGICAL LIST OF TREATIES AND OTHER INTERNATIONAL AGREEMENTS CONCLUDED BY JAPAN IN 2016 551

ACTIVITIES

I. Activities of the International Law Association of Japan 554

II. Activities of Related Academic Associations in Japan 560

1. Kokusaiho Gakkai (Japanese Society of International Law, established in 1897) 560

2. Kokusai Shiho Gakkai (Private International Law Association of Japan, established in 1949) 568

3. Sekaiho Gakkai (Japanese Association of World Law, established in 1965) 571

INSTRUCTIONS FOR SUBMISSIONS TO THE JYIL 574

TABLE OF CASES 577

TABLE OF TREATIES AND OTHER INSTRUMENTS 579